

長野県が誇る技術・製品
NAGANOものづくりエクセレンス2014

【会社概要】

社名	株式会社タカギセイコー
所在地	中野市岩船330-2
代表者	代表取締役 高木 和敏
URL	http://www.takagi-j.com

走査式周辺前房深度計「SPAC」とは

日本人の失明原因の第1位は緑内障で、その一種である閉塞隅角緑内障の発症原因に深く関与しているのが前房深度。前房深度が浅いほど閉塞隅角緑内障を発症する危険性が高まるが、「SPAC」は前房深度の浅い人を的確に見つけ出し、眼科医による早期治療により失明を防ぐことを可能とする。

エクセレンス(優れている点)

前眼部に対し非接触、非侵襲で、スリット状の赤外光が移動しながら0.2mm間隔で画像を取り込んで測定。

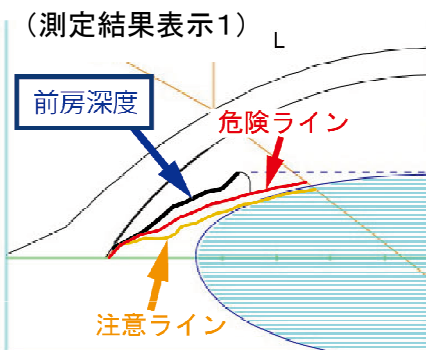
測定結果として前房深度の他、前房容積、角膜厚、角膜曲率半径などが得られ、これらの情報から3次元画像表示が可能となり、患者さんにも結果が理解しやすく、インフォームド・コンセントにも有効である。

走査式周辺前房深度計 「SPAC」(スパック)

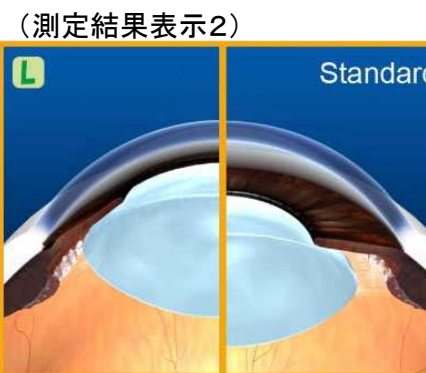


(SPAC 医療機器 認証番号226AFBZX000076000)

緑内障は、視機能が障害を受ける眼疾患。視機能が一旦障害を受けると治療による改善はほとんど望めない。そのため早期発見、早期治療が重要となる。



測定結果表示1は、2次元の断面図で表示したもの。前房深度は、注意ライン、危険ラインより上にあり、大変浅く危険な状態を示している。



測定結果表示2は、上と同じ結果を3次元画像表示で左半分、同じく右半分に正常者を表示したもの。左と右を比べると「前房が浅い」ことが視覚的に理解しやすくなっている。